

治療を受ける患者さまへ
(CV ポート埋め込みの患者様)

化学療法で使用する薬は血管外へ漏れると、その部分の皮膚が赤く腫れたり、ただれたりする可能性があります。安全に治療を受けていただくために、患者様にも治療中に注意していただきたい点がございませので、ご協力ください。

- ☆ 点滴している場所やその周辺の痛みを感じた場合、痛みがなくても点滴の針が入ってる周囲が腫れていると思われる場合は、すぐに看護師へお知らせください。
- ☆ 静脈リザーバーから治療を行う場合は、リザーバーの入ってる方を下にした姿勢はできるだけ避けてください。またリザーバーが入っている方の腕を極端に反ったりする体勢は避けましょう。針が浮き上がり薬が漏れる危険性があります。
※ ポート周囲の腫れや痛みがある場合、濡れている場合には薬を止めて（クランプを閉じる）すぐに病院へ連絡・来院してください※
- ☆ リザーバーから治療される方は、点滴中 リザーバー周囲が見えやすく、処置しやすい服装でお越しください（襟ぐりの広いシャツか前ボタンのシャツ）
- ☆ ポート針を固定しているドレッシングテープやチューブを固定しているテープの剥がれがあればテープで追加してください。夏場は汗で剥がれやすいので心配なときは二日後のポート抜針まで待たず、外来化学療法センターまでご連絡ください。
- ☆ 長時間の治療がある方は治療中、飲食可能です。持参される際は、においや刺激の少ない食べ物をご持参ください。

